

聴いてくれた皆さん、感想ありがとう!!

皆さんからのあたたかいお便りに
心から感謝!

Muito obrigada.

■毎日『オルフェのサンバ』聴いています。寝起きに、食事をしながら、仕事をしながら、お酒を飲みながらと、ジックリ聴いたり流して聴いたりしてます。とにかく気に入っています。(KT)

■素人の私でもよく知っているスタンダードが入っていて嬉しい!(OM)

■ブルーボッサやジョピンもGOODですが、私にはオリジナルの曲がココロに沁み込みます。(HN)

■平田さんのオリジナルを聞くと、いつも目の前にバーというんな情景が広がるのです。不思議です。(ND)

■このCDをさげば聴けばkimikoワールドがどんなものか、すぐわかりますよ。「ヒジリバシ」が第1曲目、これはきまっていますね!(BB)

■最初の曲が「聖橋」で、あの曲は大好きです。この前もちょうど御茶の水の駅の前を通ったので、聖橋から川を眺めてみました。(HM)

■私の一番のお気に入り「A Lua」かな～。出だしの、“Uma bela noite (美しい夜)～”の声とメロディがとても美しい!と思いました。(TC)

■ブルーボッサのサクスがたまらん!やはりカルロスマルタは光ってるね。(SH)

■好きなのは「オルフェのサンバ」!!! 片思いとか、むなしさとか、苦しさとか、ま、いいじゃん、とりあえず置いて、サンバを踊ろう!!! って感じね。楽しいです!(OK)

■「出て行っちゃば」、楽しいですね。歌うことは生きること。そうやって爽快になります。(NM)

■もう、とにかく詞が素敵。きみこさんの歌は聴いていて風景が見えてくるし、日本語訳を見ないで歌を聴いていてもこんな状況かなあ?って想像がついて、とっても親しみやすいよね!(KK)

■始めのほう結構大人っぽいというか、しっとりした感じですよ。友達とこういう感じもいいじゃんって話しました。(MY)

■ほとんどの曲の作曲だけでなく作詞もされているんですね、ポルトガル語で。ちょっと驚きました。(TK)

■前作よりも洗練度が増し、全体的によりけたく、歌も力抜けててとても好い感じでした。“大人の音楽”になっているというのが全体の印象です。気持ちのいい歌声とサウンドは確実に引き継がれていて、嬉しく思いました。(KS)

■きみこさんの息づかいが聴こえてくるようなセクシーさもいいけれど、演奏が、豪華だよ。(NN)

■いろんなものを受信しましたよ。歌も演奏も素敵です。(TH)

■Você tem aquele sentimento que a música brasileira é que precisa.Estou curtindo de todos os detalhes: a interpretação, os arranjos, as composições.É uma beleza.(JM)

■解説には日記風のコメントがあり、録音の臨場感が感じられて楽しく拝見しました!(BK)

■毎日聴いています。お風呂に入りながらCDを流すのを楽しみにしています。週末のドライブにもいいかも!(BY)

■「オルフェのサンバ」ひっきりなしに聴いています。寝る前とかも。この前友達の前でボサノヴァはいーっ!!って言ったら「あんたジャズファンじゃなかったっけ?」とか聞かれてしまいました。どっちも好きなんだよ!(KH)

■うちの家族にとっても好評で、気付いたらダンナも娘も鼻歌で歌っていたりします。「らららら～」って。(KN)

■バタバタと落ち着かない朝に聴くと、なんとなく「ま、落ち着いて行こうぜ」という気持ちになります。音楽は偉大ですね。(NN)

■何度も何度も聴きたくなる…それもきみこワールドね。(ON)

(2003.6.30発売)

平田王子プロフィール

ギターを高橋信博、作曲およびアレンジをエリオ・セルソ、ヴォーカルをクララ・サンドロニ、各氏に師事。ポルトガル語もマスターし、自身の言葉として表現している。1995年より度々ブラジルで音楽修行経験を積み、多数のミュージシャンとの交流を持つ。2001年1stアルバム「マラクジャ」、2003年にはリオ・デ・ジャネイロ&東京録音による2ndアルバム「オルフェのサンバ」を発表。日本語、ポルトガル語の両方の言語の響きを大切にしたいオリジナル曲も増やしている。自己のブラジル音楽ユニット「カショール・ケンチ」のほか、数々のゲストを迎えつつ都内ライブハウス・イベント・レストラン等を中心に活動中。

平田王子オフィス:

Office Soramame(ソラマメ)

〒191-0065 東京都日野市旭が丘2-12-7 4F TEL&FAX:042-584-5400